

▼問合せ
企画グループ ☎079(435)0356

テーマ「こころ豊かなまちづくり」



11月16日(火) 19:00~20:00
ライオンズクラブ 参加者14人

Q コミバスはどうなっているのか
 A 就任後、地域公共交通会議を立ち上げ1年ほど協議し、国の補助もあったので土山駅から播磨町駅までを試験的に走らせる予定だった。バス停、料金も設定したが議会で否決された。その後、土山駅南に病院が建設されるということもあり住民からコミバスの要望が多くある。神姫バスと東加古川駅―播磨町駅間のバス路線を土山駅まで延伸、昼間の増便を協議している。また、加古川市、明石市からのバスの乗り入れについても協議している。しかし、ただ乗り入れをさせていただくだけではなく、播磨町で独自で走らせ両市のバスと接続する形がベストではないかと思う。引き続き調査研究を行い、「住民生活町内完結型」のまちづくりを目指しているので実現させたい

Q 土山駅南の空き地はどうなっているのか
 A 商工会館を含んで複合交流センターを建設する案だったが3回否決された。今のところは白紙
 Q 実現できるようなことはないのか
 A 平成22年の3月にガーデンプラザが完成、今は病院が建設中。一度に工事が重なる住民や駅利用者にも迷惑になる。来春に病院建設が完了すれば、その後再度病院北側の検討をしていく
 Q 狭あい道路のセットバックが進んでいない。火災や震災のためにも町が買い取り道路を広げると便利になるが
 A 町内には、生活道路が狭く緊急車両が進入できない箇所が多々ある。できるだけ速やかに改善したいとは思いますが、建築確認の後に門扉やブロック塀をつくるなどしてしまっ溝にふたをして道幅が広がるのであれば実施している箇所もある。通学路も含めて普段から安全に通行できるように努力していきたい。今までの経緯を含めると一挙に転換しにくい

Q 個人に負担を掛けないよう買い取るなどしてはどうか
 A 人の財産を取得するのは公共工事であってもかなり難しい。地域の理解も必要だと思う
 Q 狭あい道路の整備条例をつくるよう一般質問したが町は応じなかった。近隣市町はあるが播磨町がなぜできないのか。播磨町は今年度から地籍調査を実施するのでそれに併せてのセットバックを私は提案したが、緊急車両が通るのに最低4m必要。本来なら建築したときセットバックの場所を町が交渉しなければいけない
 A 地域住民の合意が得られ地域としてまとまり提供してもらえれば町が買うこともありうる。行政が一軒建築されることに買い取ることは難しい。長年にわたる個々の買収は投資対効果が得られるかは疑問。また相続などで代が変われば難しい
 Q JR土山駅の北側は今後どうなるのか
 A 近隣市町と期成同盟会を組んでいたが3年ほど前に解散した。去年(平成21年)町として調査もした。インフラ

住民の皆さんが町長を囲んで、テーマに沿ってまちのことを語り合っています。

▼問合せ 企画グループ
☎079(435)0356



11月12日(金) 19:00~20:00
少年補導委員会 参加者13人

テーマ「安全・安心のまちづくり」

Q 補導委員会は自治会からの参加者が少なくなり有志により発足された。教育委員会から1人参加されているが他の職員に参加していただけないか
 A 仕事外で参加することについてはそれぞれに任せている
 Q 発足当初は20人であり、過去には町職員が複数補導に同行していただいていた。年々メンバーが減っており、高齢の方も多くなっている。町長から小中学校の先生かPTAの方に継続的に参加していただけないか
 A 教育委員会の所管ということもあり、教育長に体制作りを考えていただくよう依頼する
 Q 中学校のPTAの方にも加わっていただき、補導委員会がどのように活動しているのかを知っていただけたらと思う
 A PTAや子ども会などがもう少し補導について関心を持たなければならぬと思う
 Q 午後8時くらいに巡回しているが播磨町は暗い。街灯交換のときには明るいものにしてもらいたい
 A 街灯は順次増設、ワット数も高いものに換えていっている
 Q 播磨町の駅前も昔に比べたら暗い
 A JRに比べて電車の便数が少ないことや店舗数によるものだと思う
 Q 朝に歩く人はたくさんいるが、危機管理の面からも夜の安全対策も考えなければならぬ
 A 町も要望があるところは確認の上、街灯を設置している。必要だと思う箇所について具体的に指摘いただければ。小学生の登下校ではシニアクラブや女性団体などに立っていただきたい。地域で見守ろうという意識は高まってきている
 A 登下校については交通指導員をはじめ、地域ボランティアの方が町内の35カ所以上に立ってもらっている
 A 交通指導員も増やし、危険なところに配置している。しかし、夜間になるとボランティアは難しい。現在、特に見まわりが必要なのはあ

るのか
 Q 現在は落ち着いている
 A 播磨町は、教科専門指導教諭を配置、またスクールアシスタントも全校に配置している。そのため学校も落ち着いていると聞いている
 A 昔は問題があったが、今は少ない。事務局としては補導員の安全が一番大切で、補導のない補導委員会が一番だと思つ
 A 巡回で抑止力が効いているということだと思う
 Q 朝から立っている姿を子どもたちが見ること、自分たちが見守られていると感じることが小さな町だけに他市町より多いと思つ
 A そのようなことが小さな自治体のメリットだと思つ
 A 播磨町のイメージキャラクターのいせきくん、やよいちゃんの着ぐるみができたので啓発に活用してもらいたい
 Q JR土山駅から大中遺跡に行くための看板が見にくい。色を赤などに統一すれば分かりやすいのでは
 A 具体的に修正案を示していただきたい
 Q 補導委員は年間10回ほど、4班に分けて町内を巡回して

いる。最低12人が必要だが、15人全員がそろつていないので3班にするなど班編成に苦労している
 Q 「補導委員」とすると堅苦しく感じる。出歩いている子どもたちに気さくに声を掛ける程度。月に1度回っているので気軽に参加してもらいたい
 Q 「子ども見守り隊」など名前も考えたらいいかもしれない。女性でも入りやすいと思う
 Q 来年は、補導委員のジャケットか腕章などを作ろうと思つている
 A 服装も大切であり抑止力になる
 Q 最近子どもを叱る親が少なくなってきた。愛情があれば子どもも分かるので大人が叱らなければいけないと思つ
 A 11月はオレンジリボン(児童虐待防止)キャンペーン。児童の虐待についても多くの方々に関心を持っていただきたい

整備をするにも私有地が入り組んでいて難しい。協議会と今後の可能性を協議している
 A 今のまちづくりの方針は地域主導。行政はそれを支援するかたちをとっている
 Q 向ヶ池を埋め立てる意見は出ていないか
 A 出ていない。今播磨町には12のため池が残っているが、環境のためにも水辺を残していく方向で新たに埋め立てることは考えていない